

3地区のつなぎ役 住民交流の助けに



白沢自治会
阿部 義晴 会長

白沢地区は、東日本大震災後に移り住んできた世帯が多く、隣りの人が分からないことや、高齢化が課題となっていて、コミュニティ活動に力を入れて取り組んでいます。夏休みにはラジオ体操なども企画し、子どもや親世代の参加が見られました。自治会では、「地区の後継ぎ」をつくりたいと頑張っています。

今回のウォークラリーは、もう一度やりたいと言う住民の声を支援員の協力で実現できました。花輪田、桜木町地区との交流は良い点を真似し、課題解決のヒントを探るうえで非常に貴重な機会です。3つの地区のつなぎ役として走り回ってくれた支援員には感謝しています。これからも一緒に地域を盛り立てていきたいと思っています。

ウォーキングが健康長寿をもたらす新たな出会いを促す
白沢・花輪田・桜木町
3地区合同ウォークラリー
令和3年
10月24日(日)
参加者大募集
申し込み不要
コースは家裏のとおり
白沢～花輪田～桜木町
一周約5.4km
3地区を巡り、
3地区の良い所を
再発見しよう!!
★持ち物:各自動きやすい服装・靴など・タオル・飲み物
(リュックやバックなどで参加してください)
★保険について:各自自治会でボランティア行事用保険に加入します。
★参加予約について:各自治会でボランティアの人数を把握し、当日の体調に合わせ、他の参加者と人数を調整させていただきます。
★ウォーキング中は、他の参加者と距離を詰めずに協力下さい。
★当日、マスクの着用、参加者名簿の記入や時刻にご協力下さい。
★天候については当日は、少雨・雨天中止となります。
主催:白沢自治会・花輪田自治会・桜木町自治会



3地区合同で行われたウォークラリー。のぼりを掲げ、子どもからお年寄りまで一緒に3つの地区を回って歩いた



地域課題 × おもっせえ

困りごと相談を受ける信頼関係 支援員として見えた地域課題

ふるさと支援員は、自治会・町内会や町内活動団体が集まる大槌町コミュニティ協議会で話し合われた地域課題などをもとに、地域の意見を聞きながら、住民が取り組みたいと考える地域づくり活動をサポートしています。社会福祉協議会職員である支援員の皆さんは、地域の声を聞くという面で、生活支援などで築いてきた住民との信頼関係が強みであると言えます。地域を訪ね、住民と話す中で見えてきたのは、地域活動の担い手の育成や、世代間の交流などの課題でした。

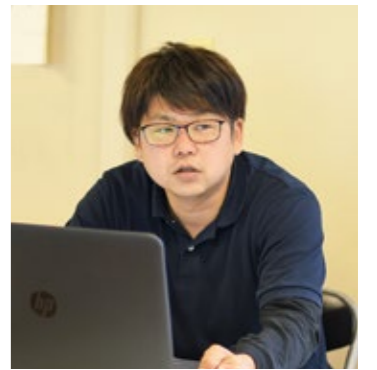
人や団体をつなぐ「ハブ」役に 三地区合同のイベントを支援

支援員の五十嵐さんは、自らの役割について「地域で活動する人や団体などをつなぐ『ハブ(中継装置)』のような存在。住民の皆

中井さんは「ただ再開しただけでなく、活動を周知し盛り上げるためののぼりを作るなど地域の人が一生懸命アイデアを出し合った。私たちも単なる支援者ではなく、一緒にやってやるという気持ちで取り組んだ」と今回の活動を振り返りました。活動を通して、自治会との信頼関係が築けたと感じ、三地区での取り組みが今後さらに広がることを期待しています。

「おもっせえ」に込めるもの

町が協働地域づくりに掲げる「おもっせえ」大槌。支援員の皆さんは、この意味を「またやりたいと思う、



地域や団体の中継役を担いたいたいと話す五十嵐さん

さんが踏み出すきっかけづくりをしたい」と話します。

小槌川流域地区担当の中井さんとともに取り組んだのは、白沢・花輪田・桜木町の3つの自治会が合同で行う「三地区合同ウォークラリー」でした。以前行っていた、3つの地区をまたいで住民が歩くイベント。再開させたいという地域の声に対し、各地区との調整や企画、チラシ作成など、自治会と一緒に取り組みました。

開催日の10月24日には、合計で64名が参加。子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まり、隣り合う地区を歩きながら交流しました。

ずっと続けたいと思うこと」だととらえます。祭りや郷土芸能のように、ずっと続けたいもの、今回のウォークラリーのように、多世代が参加し、またやりたいと声上がるような活動が、元気な地域づくりにつながっていきます。地域、世代、そして人をつなぐため、「ふるさと支援員」は今日も地域の声に耳を傾けます。



「おもっせえ」とはまたやりたいと思うことだと話す中井さん

<大町地区> 顔合わせ会



「おもっせえ」地区活動はこれから」と野崎さん

ご近所同士が顔を合わせ、地域のつながりを生み出すきっかけづくりとするため開催された顔合わせ会。民生委員などと連携し、チラシでの呼びかけや地域住民による話し合いの進行役をふるさと支援員がサポート。



<安渡地区> 闘球盤体験会



地区を超えた闘球盤の普及を喜ぶ上野さん

安渡地区に古くから伝わる遊び道具「闘球盤」を使い、多世代が交流。子どもたちの飲み込みの早さに大人が感心する場面も。安渡地区以外からも参加があり、今では赤浜地区、吉里吉里地区でも闘球盤が盛り上がりを見せています。